

あなたと議会の情報ネットワーク

あおがら 21

熊本県・みふね町議会

晴天に恵まれた、消防出初式
(令和6年1月14日 お祭り広場)

12月議会で決まったこと	2
町政を質す	5
崇城大学通信 第4号	15
議会改革推進特別委員会×二十歳を祝う会実行委員会・議会モニター	16



議会HPは
こちら

No.195
12月議会
R6.1

専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

町道星原上花立線の事故における和解及び損害賠償額の決定について

予算 決算

令和5年度補正予算

単位：千円

会計名	補正額	補正後合計額
一般会計	1,073,136	15,464,112
特別会計		
国民健康保険事業	629	2,385,074
介護保険事業	3,293	2,168,042
後期高齢者医療事業	1,626	283,056
緑の村運営事業	630	34,085
公共下水道事業	12,471	676,673
水道事業 収益的支出	557	326,975
水道事業 資本的支出	2,773	412,687

条例等の改正・制定

PickUP
①

御船町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

御船町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

御船町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

御船町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

PickUP
②

御船町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

御船町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

御船町土木条例を廃止する条例の制定について

PickUP
③

町道の路線廃止について

町道の路線認定について

崇城大学生による連載を再開しました!! (詳しくは15ページ)

議会広報特別委員会 委員長 増田 安至

崇城大学情報学部には2・3年生の合同ゼミがある。テーマにより①地方議会課題解決、②ソフトバンク、③北区の区役所の課題を研究する。行政との繋がりを学生時代から図るのが目的と聞いた。

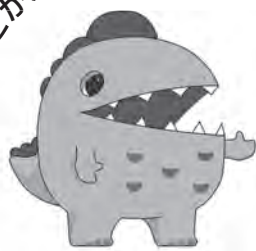
今月号から7名の学生と昨年に引き継ぎ、議会広報への掲載を企画した。少しでも住民への議会内容を伝えたいという気持ちに応え、連載を試みる。



崇城大学生との打ち合わせ



ここがポイント



審議内容を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、役場1F情報開示コーナーでご覧ください。

このQRコードからどうぞ



御船町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

図 本町には特別職報酬等審議会条例があり、議員の報酬や町長・副町長・教育長の給料の額について、審議会の意見を聞くようになっている。今般の報酬や給料の改定にあたっての審議

会の答申内容はどのようなになっているか。

総務課長 特別職報酬等審議会は11月27日に開催され、報酬や給料の改定は妥当であり、同意するという内容であった。



御船町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

図 他の自治体において、国からの通達が出されていたにも拘わらず会計年度任用職員の給与改定がなされなかったところがある。本町においては給与改定の議案がきちんと上程されていて良かった。そのあたりの説明を。

総務課長 本町では、当該任用職員の給与改定について常勤の給与改定と同じ対応をしている。

給与の改定は令和5年4月に遡及して行う。県内では令和6年4月から適用する自治体もある。遡及して適用するのは県内では約半数程度、郡内では本町だけだ。

国から「同一労働同一賃金」の原則に基づき一般職員と同じ対応をすべきだとの考え方が示されていた。



町道の路線認定について

内容の概略 町道は「1級町道、2級町道、その他の町道」と3等級に区分されるが、区分の定義を新たに画定し、現在の道路の形状に基づ

き、各町道の起点と終点を確定し、さらに通行量（人流等）に合わせた町道区域及び等級の見直しを行ったものである。



起終点の変更があった「カルチャーセンター線」（左）と「上田代線（本線）」（右）



《令和5年度御船町一般会計、特別会計補正予算審議》

マイナンバーに関するシステム改修費用について

- 国が全額拠出するとの前提ではなかったのか
- 町における見積もりの結果、国提示の補助額を約 160万円上回ることになり、その部分を町の単独費用で負担するということはおかしいのではないか
- 議会として国に意見書を提出すべきではないか
- 他町村の実情を調査した上で、議長会等で国に対しての意見書提出の提案をすべきではないか
- 意見書を提出する意味は無いのではないか

恐竜博物館の夏期特別展にかかる債務負担行為について

- 来年夏の事業であるので、今回の補正予算で計上する必要はあるのか
- 特別展に関する説明が不足している
- 特別展に関する資料の提出を求めるべきではないか

農地費工事請負費の予算組換えについて

- 口頭説明では分かり辛いので補足資料を求めるべきではないか



予算決算特別委員会の様子

討議の結果、新たに「近隣自治体におけるマイナンバーに関するシステム改修費用町負担に関する調査結果報告」「恐竜博物館の夏期特別展に関する資料」および、「農地費工事請負費の予算組換えに関する資料」を求めたうえで、審議・採決を行い、原案は全会一致で可決された

ただ 町政を質す！

12月議会一般質問



福本 悟 議員



適正な道路の維持・
管理は



岩永 宏介 議員



答弁拒否に正当性は
あるか



中城 峯雄 議員



矢形川の流下能力向上
の取り組みは



福永 啓 議員



御船町の人口増加は



増田 安至 議員



町の発展と地域振興は
本当に大丈夫か！



作田 豊明 議員



みんながわくわくする
御船町に向けて！



田上 忍 議員



町の観光振興は



藤川 博和 議員



地域クラブ指導者の
確保は



田上 英司 議員



廃棄物処理施設建設の
課題と対応について





動画をチェック▶



適正な道路の維持・管理は

A. 防草対策の推進など効果的な維持管理対策を検討

質問の背景

町道の管理は、道路法に基づき道路管理者である町が行うものとされている。本町における維持・管理は、一部業務委託を除き地区住民による除草作業などの管理作業が実施されているが、今後、高齢化等の進展に伴い草刈り機などを使っ

問 適正な道路の維持・管理は

町長 地域への負担軽減に向けた施策を検討するとともに、今後も、持続可能な町道の維持管理を推進し、快適な生活環境の整備に努めていく。

問 町道の総延長と等級毎の維持・管理の現状は

建設課長 総延長は約265km。維持・管理は1級、2級町道は町が実施、その他町道の一部は地域にお願いしている。

問 町道路等管理作業報奨金交付制度とは

建設課長 町が管理する道路、河川及び水路において、地域住民による管理作業に対し報奨金を交付するもの。

問 地域に委託している町道の管理全てを町が実施した場合の経費は

建設課長 地域管理の路線延長は168km。年1回除草作業と草の処分を委託した場合の経費は約1億8,400万円。

問 報奨金制度を活用することに伴う経費の削減額及びメリット、デメリットは

建設課長 令和4年度決算で約1億8,200万円の削減。メリットは地域コミュニティの形成、地区の道路に対する愛着の醸成など。デメリットは地区で行うことが難しくなっているとの話を聞いている。

問 高齢化等の進展に伴い町維持管理規則にある路線員による道路の維持・管理や地区住民による管理作業を外部委託するなど抜本的な見直しについて、町長の考えは

町長 地域の負担を軽減するため、今後、防草対策の推進など効果的な維持管理対策を検討していく。



除草作業後はきれいに、見通しも良くなった町道

質問を終えて

高齢化等の進展に伴い、地区で町道管理を行うことが難しくなっていることから、防草対策の推進を含め路線員による道路の維持・管理や地区住民による管理作業を外部委託するなど、適正な道路の維持・管理に期待する

答弁拒否に正当性はあるか

A.私は間違っていなかった

岩永宏介議員



◀動画をチェック

質問の背景

昨年6月議会で町長や県議が一部の議員を戸別訪問して、森田議員（現議長）を議長にと要請したことを巡って、清水議員が町長の政治姿勢を問う一般質問を行った（「あおぞら21」No.189で既報）。しかし、同議員の数々の質問に対して、町長は町議会会議規則第61条を盾に町の一般事務以外の質問については答えることはできない、と答弁を拒否。『二元代表制』の一翼を担う町長が議会へ干渉・介入したこと自体、前代未聞の不祥事であるのに、加えて政治姿勢を問う正当な質問に対する答弁を拒否。このようなことが二度と起きないように警鐘を鳴らす

以外のことについてもできる。町長の清水議員に対する答弁拒否に正当性はないと思うが町長 私は間違っていなかった。県議会の質問については今後の政策について把握するためのものと理解している。



反知性主義について参考にした書籍

図 『二元代表制』とはどのような考え方か

総務課長 日本国憲法第93条第2項に基づく考え方で、町長も議会議員も住民によって直接選出され、住民代表としての地位を持つ。議会と首長の関係は、お互いに独立・対等の立場を保ちつつ、権力の抑制と均衡の下に成り立っている。

図 「独立・対等」、「権力の抑制と均衡の下に成り立っている」、これらからどのようなことが導き出されるか

総務課長 今すぐの回答は、困難、考えさせてほしい。

図 昨年6月に町長は町の一般質問事務以外の質問については答えることが出来ないとして、清水議員の質問に対し答弁を拒否。しかし、先の県議会では蒲島知事に次期県知事選に出馬するかどうかについて議員が質問、これなどは一般質問以外の質問だが、知事は誠実に出馬をしない旨、答弁された。これから明らかに議員の一般質問は一般事務

質問を終えて

議会への干渉、介入は法的に問題がある。論拠①議会と町長は「独立・対等」、お互いに相手の立場を尊重し合い、相互不可侵の関係。そこには相互に抑制することで権力の濫用を防止しようとする民主主義の考え方がある。論拠②地方自治法「議会」の章で規定された「自律権」（議会が国や県の機関やその町村の執行機関からなんら干渉や関与を受けない権利）への侵害である。

一般質問は一般事務以外のことについてでも出来る。むしろ町長の政治姿勢について質問することは議会の透明性と住民の利益を守るためにも必要である。

私たちは反知性主義（客観性、実証性を軽視もしくは無視して自分が欲するように理解する態度）に堕してはならない。町長には「議会と町長の関係について」の深い洞察を求める





動画をチェック▶



矢形川の流下能力 向上の取り組みは

A. 県との連携で諸施策を講じている

質問の背景

矢形川は、50年前建設時の農地を守るための治水事業から、現在では住民の生命、財産を守るための治水事業へと変化している。町はどのように認識し対策を講じているか

問 矢形川の治水対策について、これまで県にどのような要望をし、どのような治水対策を実施したのか

建設課長 河川掘削を要望し、毎年度県が部分的にしゅんせつを実施している。四ノ宮橋から御船浄水センター間の河川管理道路の除草作業、また河川堤防の樹木伐採等も引き続き要望している。



しゅんせつしたW橋脚下
(甘木橋・高速道路)

本町としては、内水対策として、町道西木倉桜町線に架かるボックスから下流のしゅんせつを令和4年度に、役場東側駐車場からスポーツセンター間の水路しゅんせつを本年度に実施し、事前防災に取り組んでいる。今後も引き続き県と連携しながら対策を講じていく。

問 町の内水氾濫対策プロジェクトチームに県も参加しているとのことだが、対応策はどうなっているか

環境保全課長 御船町内水氾濫対策検討プロジェクトチームは令和3年度に設置しており、熊本県からは上益城地域振興局農林部農地整備課長並びに土木部維持管理調整課長が参加している。

プロジェクトチームでは、情報共有をした上で、県町それぞれの立場で河川や排水路のしゅんせつ工事や土嚢・排水ポンプの設置のほか、今後の対策検討を行っている。

このような取り組みの中で、長年の懸案である洪水時の矢形川落合樋門の取り扱いについても検討を重ねており、本年度は上益城地域振興局土木部維持管理調整課において矢形川の河川断面や現況の調査が行われている。

今後、これらの調査結果を基に更に具体的な対策の検討をする。

問 農業用防災ダムとして作られた天君ダムは現在どのような役割を果たしているか

農業振興課長 矢形川の洪水氾濫による冠水被害から熊本市、御船町、嘉島町及び益城町の農地、宅地、農業用施設及びその他の公共施設を守る役割を担っている。

令和5年7月3日の豪雨において、ダム機能である貯留効果が十分に発揮され、河川水位を低下させたことにより、冠水被害抑止が図られた。

問 今後の流域治水をどのように考え、どのように取り組むのか

建設課長 中小河川のしゅんせつや排水施設の設置、雨水浸透柵の設置推進など内水対策で行っている事業をプロジェクトに掲載し、流域市町村と情報を共有しながら治水対策に取り組む。

質問を終えて

町中の内水問題は、住宅開発や企業の進出等町発展の阻害要因となる。

県議会でも地元県議が一般質問されており、引き続き県とも連携して取り組みを強化して欲しい

御船町の人口増加は

A.可能性にあふれている

福永啓議員



◀動画をチェック

質問の背景

近年、堅調に推移している町の人口だが、その中身について各種統計等で深堀していくと課題が浮き出てくると同時に、その課題に対する解決策も見えてくるのではないかと考え質問した

問 本町において減少を続けていた人口は近年、回復傾向が続いている。一方で、日本全体としては少子高齢化社会を迎え、人口が減少していく中、本町においても、「日本の人口は減っていくのだから、どんなに頑張っても、これから先人口が減っていくことは仕方がないんじゃないか…」などといった思いに駆られることがあるかもしれない。しかし、本町においては人口増の可能性はあるのではないかと

町長 私も人口増について可能性にあふれていると思う。本町において、インターチェンジ周辺および国道沿線への企業誘致や、子育て環境の充実の取組等により、若年層の人口も増加傾向にある。今後も本町の可能性を更に力強いものとし、人口増加に取り組んでいく。

問 団塊の世代がすべて65歳以上の老年人口に突入したので、老年人口も老年人口割合も頭打ちになり今後減少傾向が想定されるが、高齢者の医療、介護にかかる費用との関係性はどうか

福祉課長 介護保険認定の約9割は後期高齢者であり、後期高齢者の人口はまだ増加していく。そのため、短・中期的には介護に係る費用について増加を見込んでいる。

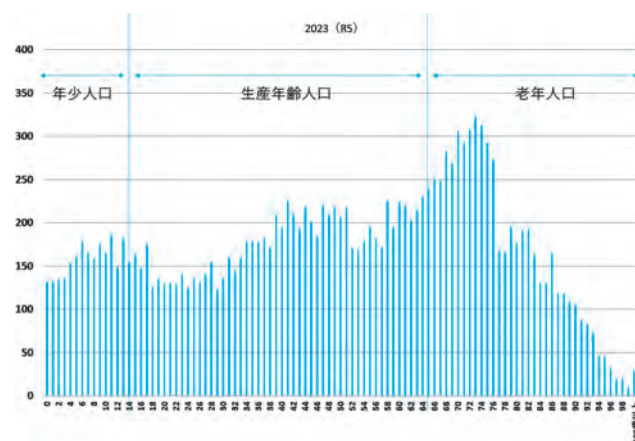
問 本町の人口を支えている年少人口、子育て世代人口だが、出生数と出生率に関しては県内最低レベルである。本町の出生数と出生率を上

げるため、いわゆるワンオペでも安心して出産、子育てができるための施策が必要ではないか

こども未来課長 町の将来を見据え、新たな独自支援施策を検討している。また、既存事業においても更なる利便性の向上や負担軽減を図る。

問 町全体で見れば人口が増えているが、中山間部の人口は減少が続いている。ソフト面に加えてハード面でも何か新たな事業を行わないと中山間部の可能性を引き出せないのではないかと。町全体としてよい流れに乗っている今こそ、中山間部活性化のチャンスではないかと

町長 御船町の中山間地域に、おためし移住体験できる仕組みを考えていきたい。中山間地域の活性化に向け庁内会議も立ち上がり、中山間地域が魅力あるものとなり移住定住していただけるよう各課が連携し、前向きに取り組んでいく。



令和5年御船町人口（年齢別分布）

質問を終えて

人口に関する統計、資料等に関する要因分析及び課題抽出等は町にとって意義かつ必要な作業であるが、専門的知見の活用が不可欠であると感じた





町の発展と地域振興 は本当に大丈夫か！

A・町民からの意見を取り入れ、
町の振興策に真摯に取り組んで行く

動画をチェック▶



質問の背景

人口は減少し少子高齢化から従来の自治会・学校単位のコミュニティ活動も困難となっている。地域からの様々な意見を考慮しながら、将来への取組を質問した

1 「創業・新分野チャレンジ事業応援補助金」

町長 9月議会で承認された条例を活用し、10の重要政策を掲げ、経済振興を目的に起業する事業者を応援していく。

問 周知方法は

商工観光課長 広報やホームページで周知し、各種団体へ個別訪問し説明した。

問 想定範囲は

商工観光課長 町内を本店所在地とし、チャレンジしたい事業者を広く募集する。



2 町道管理の実際

町長 町道の維持管理は定期的に職員で道路パトロールを行い、必要に応じて修繕や補修工事を行っている。定期的に除草作業や樹木伐採を行っているが、維持管理費は年々増加傾向にある。

問 過去5年間の管理費は

建設課長 災害分を除く過去5年の決算額(表)

年度	金額
平成30年度	15,982,424円
令和元年度	21,613,492円
令和2年度	21,605,245円
令和3年度	32,400,479円
令和4年度	45,260,393円

問 管理範囲は

建設課長 道路法第8条に基づいた路線が町道であり、管理は同法第16条第1項規定で町が行う。また里道や法定外公共物も町が管理する。

問 地区からの要望窓口は

建設課長 区長を通じて要望書を提出する。

3 公民館分館の管理と業務

社会教育課長 管理・運営は御船町公民館条例・公民館運営規則に従い、各分館長が行う事になっている。

問 分館長への説明は

社会教育課長 分館長会議等を通じ説明を行っている。

問 業務は

社会教育課長 分館長は、分館本体の管理、鍵の管理・年間行事計画・運営を行っている。

問 学童事業で利用は可能か

こども未来課 条例5条の「公益上特に認める場合はそれを適用できる」規定に基づき、現在2ヶ所の公民館で放課後の時間帯(平日4時間程)利用している。

問 利用する時間が地域住民と重ならないか

社会教育課長 条例5・6条の内容を説明し、事業者と公民館長との間で覚書を交わしていく。

問 分館の環境整備は

社会教育課長 分館の管理運営は、管理運営負担金でお願いし、施設の環境整備については町の負担で行う。

質問を終えて

人口減少は税収の減少をもたらす自治体の財源規模は縮小していく。これまでの行政サービスが困難とならぬよう、議会でしっかりチェックしていく



みんながわくわくする 御船町に向けて！

A. 目標を明確化し町民に元気と希望を与えられる行政運営を心がける



◀動画をチェック

作田 豊明 議員

質問の背景

御船町の行政改革について、①人材育成等、②第6期御船町総合計画における町が目指す将来像の実現のための施策について質問する

問 職員全体に対する会計年度職員数の比率は

総務課長 平成27年度から令和5年度までの会計年度任用職員の割合は、全職員の40%前後で推移。

問 職員が安心して仕事ができる職場環境を

総務課長 3期目に取り組む10の重要政策の推進を図っていく中で、新たな業務への対応も出てくるため適切な職員配置に努め、退職者へのサポートや、復職に向け産業医の面談等を行い、必要な措置を講じる。

問 職員の人材育成は

町長 令和5年1月御船町人材育成基本方針の改訂版を作成した。基本方針に沿った活気ある職場環境を作っていく。

問 秘書政策室の業務は

総務課長 3期目に取り組む10の重要政策について、各課へヒアリングをし、ロードマップを作成している。

問 第6期御船町総合計画は

町長 第6期御船町総合計画の後期計画について



茂生寺団地の解体後の状況

は、令和6年3月議会への議案提出を予定している。

問 町の閉校施設及び遊休施設等の利活用は

まちづくり課長 前期は、持続可能な行政区運営を図るため、区の連携協力体制の構築及び行政区再編に取り組んだ。後期は、地域づくりの活動を支援し、持続可能な地域づくりを目指す。また、中山間地域に住み続けたい、住んでよかったと実感できるように中山間地域の活性化に取り組んでいく。

問 健康づくり推進わくわくどきどき初めての特定健診について

健康づくり保険課長 受診率は令和3年度38%、令和4年度が41%、令和5年度は11月末現在で53.8%と年々向上している。今後も健康増進と意識の向上に努めていく。

問 キッズドリーム運動公園プロジェクトの進捗状況は

社会教育課長 令和3年度から協議を重ね、令和4年度に基本構想策定事前調査を実施し、基本方針の策定に取り組んでいる。この基本方針に基づき基本構想、基本計画へと進めていく。

問 吉無田高原リゾートプロジェクトについて

商工観光課長 マウンテンバイク、トレイルランなどの自然を活かしたスポーツイベントが実現している。

問 地籍調査の計画は

農業振興課長 令和6年度から新規地区調査を4班体制で実施する。県内受託業者を含めた関係団体の動向を重視し新手法の検討を進める。

質問を終えて

職員が御船町を愛するまちづくりに取り組んで、職員の負担にならぬよう、自由に生き生きとした職場環境になるよう改善していただきたい





動画をチェック▶



町の観光振興は

A. 民間の意見を入れて行っている

質問の背景

議員全体研修で群馬県みなかみ町へ行ってきた。民間主導で観光資源にとられないアイデアを生かし観光振興を行っている。これを踏まえて質問した

問 これまでの観光振興は

商工観光課長 魅力的な観光資源として恐竜博物館と吉無田高原がある。観光協会が行政では難しい民間手法による取り組みを担って周遊チケット事業やイベントの開催などの観光振興に取り組んできた。

問 成果は

商工観光課長 恐竜、音楽、吉無田、があっぴ祭りなどが定着してきた。埋もれていた観光資源も各種団体の協力で魅力的になってきた。地道な努力により観光客数は増加している。

問 今年度の取組は

商工観光課長 1, 観光PR事業、2, 町内回遊事業、3, 観光デジタル化事業、合計約4,200万円の予算。

問 この事業は誰が考えたのか

商工観光課長 商工会や観光協会などの意見を参考に職員で考えた。

問 住民等からの情報収集はしているのか

商工観光課長 商工会、観光協会の会合に出席し意見や活動内容などを伺っている。イベント等でもアンケートを実施し情報収集している。

問 観光マップ、ランチマップの対策は

商工観光課長 観光デジタル化事業で、史跡や観光地等をWeb上のマップに落とし込み、文字や映像、音声で案内するシステムを導入中だ。このシステムで観光マップ、ランチマップの役割を果たせる。情報は随時、更新や削除ができる。

問 何でもないことを観光に結び付けられないか

商工観光課長 町内の各地域で希少植物や昆虫の観察、農業体験などが行われている。情報収集し観光デジタル化事業に取り込むなど、出来ることを考える。



観光パンフレット

問 観光振興予算をどこかの団体に丸投げして自由にできる予算付けはできないか

商工観光課長 今は考えていない。

問 竹バイオマス関連の諸問題解決は

商工観光課長 債務者に請求通知を送付し弁護士と相談しながら、適切な対応を行う。

問 先般の議会で別役氏と連絡が取れないとあったが連絡を取っているという議員に尋ねたか

商工観光課長 直接、議員本人に尋ねたが教えて貰えなかった。

問 裁判等に要した費用と回収額は

商工観光課長 別役氏、費用36万円で回収321円、山本氏、費用約2700万円で回収42,146円。

問 費用ばかり掛かって回収不能なら何か考えるべきではないか

商工観光課長 今後検討する。

質問を終えて

観光振興には広く一般住民の意見が大切だ。固定概念にとられない自由な発想、自由な予算の使い方で観光振興ができる体制が必要だと感じた

地域クラブ 指導者の確保は

A.現在、人材を募っている

藤川
博和
議員



◀動画をチェック

質問の背景

内水対策については、辺田見山からの雨水対策として、雨水を新設の排水路から御船川に排水できるか。

令和7年度末に、中学校部活動を地域クラブに移行となっているが、指導者の確保をどうするか

問 現状用水路は、100mm以上の大雨時、飽和状態になる。用水路を改良ではなく新設の排水路建設を

環境保全課長 用水路改良整備には、様々な問題や課題が生じると思われるので、課題を整理し、経済性や事業効果を十分に検討した上で進めたいと考えている。

問 新設の排水路を活用し、若宮公園の排水口から排水すれば辺田見山からの雨水を排水出来ると思うが

環境保全課長 調査に基づき、御船川の河川管理者である国土交通省と辺田見山の雨水を御船川へ排水出来ないか、今後協議を行う。

問 目抜井手沿の道路冠水対策として用地の確保を

環境保全課長 当該用地は調整池の場所としては、有効性があると評価している。役場周辺の駐車場は現在も不足している。防火水槽についても有効だと評価しているので、実現可能な調整池、整備手法と併せ検討を進めたい。



若宮公園の排水口

問 休日の学校部活動を地域クラブへ移行する原因は

学校教育課長 少子化が進む中、部活動をこれまでの体制で運営することは難しくなっている。教師が指導する部活動は、教師の働き方改革を改善する為に、休日の部活動を地域指導者・地域クラブ等に移行する。

問 地域クラブの指導者確保はどのように進めていくのか

学校教育課長 現在スポーツ活動の指導に当たっておられる指導者や指導を希望されている人材を募っている。

問 令和7年末以来、町の部活動の指導方針は、どのように考えているか

教育長 現在、中学生、保護者、教職員を対象にアンケートを実施し、取りまとめを行って出てきた意見を参考に、御船町中学校部活動地域移行推進協議会を開催し、御船版部活動の地域移行が出来るように考えている。



御船中学校部活動の様子

質問を終えて

排水については、管理者の国土交通省と協議を行っている。休日の部活動は令和7年末までには、指導者を確保し、部活動が行っていけるように努めていく





廃棄物処理施設建設の課題と対応について

A. 責任をもって後世に伝えていく



動画をチェック▶

質問の背景

9回目の質問、地域の事を決める政治チャンネルをもっているのは議員、そして住民意思である

問 施設建設に当初の一般廃棄物処理から熊本県の関与はあったのか

環境保全課長 県の関与は無い。県は財政面等助言する立場であり、広域連合が相談していた。

問 建設許可は熊本県であり、どのような厳しい審査があるのか

環境保全課長 騒音・振動・悪臭・水質・地下水等専門的意見を聞き、関係法令に基づき詳細な審査が行われる。

問 住民が説明を求める時、「それは知らない」の答弁は不信感がある

環境保全課長 町、広域連合、事業者がそれぞれの役目を果たすために情報を共有していく。

問 予定されている施設と誘致企業の協定はしていないか

環境保全課長 協定はない、経済波及が期待できる副次的効果を期待している。

問 マミコウロードは広域農道、交通対策の優先課題ではないのか

農業振興課長 道路整備・交通規制をきちんとする必要がある。

問 地権者へ産廃の事業変更の説明はない、町は説明しないのか

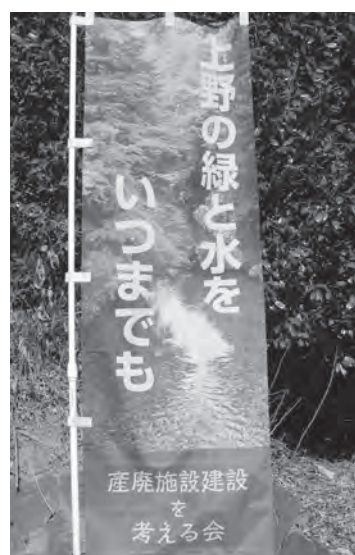
環境保全課長 説明は広域連合が行う。地権者が必要とされれば町も一緒に同行する選択肢もある。

問 すでに建設ありきとの声があるが

環境保全課長 建設ありきでは無い。現地調査もこれから、今後もアセス手続きで適正に対応されると承知している。

問 将来の安心・安全を明確に子々孫々に責任をとると公言できるか

町長 土地には魂があり真剣に守り抜く。5町が連携し責任をもって後世に伝えていく仕組みを作っていく。



この声を無視できるのか

質問を終えて

信頼に裏打ちされた行政をめざす、住民無視・軽視は許されない。住民の声に耳を傾け、負託に応えて住民と共に歩く

崇城大学通信 第4号

文責：崇城大学情報学部 堀、新美、深川、萩尾、羽田野、藤本、吉川

議員の待遇について調べてみた

毎月の報酬は

御船町議会の議員報酬は約23.8万円、副議長が約26.2万円、議長が約31.8万円となっている。また、御船町長は約70.8万円となっている。全国の町村議会では一番報酬が高いのは神奈川県葉山町で、40万円となっている。

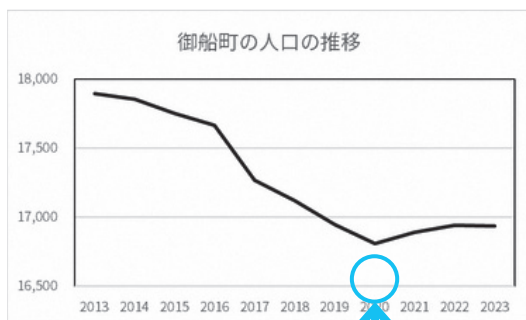
昇給、退職金は全く無し

地方議員は公務員とは違って非常勤扱いであるため、どんなに長い間議員を務めても、昇級、退職金は全く無い。ただし、ボーナスはもらえる。また、調査や研修あるいは図書購入などにあてる費用として政務活動費が年に24万円もらえる。収支報告書の提出が求められ、使わなかった分は返還しなければならない。

社会保険は未適用

地方議員は会社に勤めているわけではないので、社会保険は適用されない。また以前は議員年金制度があったが、現在は廃止され、国民年金のみである。

御船町の人口が増えている！？



出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)

御船町の人口は2020年まで減少していたが、2020年を境に人口が増加傾向にある。

今後はその人口増加の理由に着目した記事も書いていく予定だ



議会改革推進特別委員会 × 二十歳を祝う会実行委員会

議会改革推進特別委員会 委員長 福永 啓



議会改革推進特別委員会では、広く皆様のお声を伺いながら、さらなる議会改革を進めると同時に、議員待遇の在り方についての議論を進めている。11月30日、「二十歳を祝う会」実行委員の方々、12月14日、議会モニターの方々からお話を伺った。

実行委員会前の貴重な時間を頂いて意見交換会を行った

二十歳を祝う会実行委員会

意見交換会 11月30日(木) 18:30～

Q1 議員報酬等、議員の待遇について ご存じか

- 知らない 6人
- 少しは知っている 0人
- 大体知っている 0人

Q2 議員の待遇は、会社員や公務員と比べてどの程度が適切だと思いますか

- 一般的会社員や公務員の平均と同じ程度 1人
- 一般的会社員や公務員の平均以上 5人
- 一般的会社員や公務員の平均以下 0人

Q3 議会及び議員に対してどのような 役割を望むのか

- リーダー的存在
- 町をより良くする
- 議会が何をしているかよくわからない
- 議会の仕事かわからないので、議会に望むものもわからない
- 仕事内容についてはよくわからないが、町のために一生懸命働いていただけたら。

Q4 25歳になった時に、「議員に立候補してほしい」と言われたらどうしますか

- 他の人を推薦する
- 議員の仕事内容がどういうものなのか聞いてから良いと思えば立候補する
- 今仕事をしているので、また25歳になって1からスタートするのが不安
- 副業しても良いなら考える

Q5 多様な世代・職種の方々が議員になるためには議員待遇を含め、どのようにしたらよいか

- 魅力を伝える活動
- 議員になった後の報酬等わかりやすく伝える
- 議会がやっていることを発信していく
- 議員活動がやりがいのある仕事なのか伝えていってほしい
- 議員の方と接する機会が今回初めてだった。もっとこういう機会を設けると良いのでは

実行委員の方はこれから社会に羽ばたいていく年齢である。その方々の将来の選択肢に「町議会議員」はなかったが、逆に変な先入観もなく、意見交換を進めて行く中で町議会議員が将来の選択肢の中に顔を出してきたようにも感じた。若い方々にとって、将来の選択肢として選ばれるような議会を目指したい



議会改革推進特別委員会

× 議会モニター



議会モニター

意見交換会 12月14日(木) 13:00～

Q1 議員の待遇は、会社員や公務員と比べてどの程度が適切だと思いますか

- 一般的会社員や公務員の平均と同じ程度 3人
- 一般的会社員や公務員の平均以上 3人
- 一般的会社員や公務員の平均以下 0人
- わからない 1人

Q2 議会及び議員に対してどのような役割を望むのか

- 総合計画の進捗状況がわからない。提示もない。監視して頂きたい
- 議会の中での発言が弱々しいと感じる。また返答する執行部が上手く答弁できていない。議員は迫力よく話すべき
- 町の方針がどのように進捗しているのかわからない。上期下期で議員が町民に報告すべき。会報だけではだめ。町民が意見を言える場所も必要
- 小学校、中学校へ議員の方に来てもらいたい
- 各地域に出かけられて、行政の報告会をされた方が良い

Q3 議会及び議員が役割を果たすためには、どのような議会改革が必要だと思うか

- 一般質問で同じような趣旨の質問はまとめて

ほしい。まとめて質問すればいい

Q4 多様な世代・職種の方々が議員になるためには議員待遇を含め、どのようにしたらよいか

- なぜなり手不足なのか、まず議員手当の問題。各議員の評価制度導入していけば良いのでは。議員の評価を報酬に反映させると良いのでは
- 議員になっても課長からの確な答弁が返ってこない。そうするとやる気が出ない。役場職員のレベルアップをする必要もあると思う
- 今の議員の背中が見えない。憧れられるような議員へ
- 議員報酬も給与表みたいなものを作成すると良いのでは
- 議員報酬は増やすべき。議員になるには生活が必要
- 女性がもっと議員になれる環境づくり
- 議員の魅力がない。議員への関心がなくなっている
- 報酬が低いのは原因の一つだと思う。一律でなくても良いのでは

議会モニターの方々は、議会に最も身近な町民の方々であるので、町民目線で議会改革に対する具体的な指摘や提言等をいただく等、大変参考になる意見交換会だった。今後とも様々な職種、世代の方々との意見交換を続けながら更なる議会改革を推し進めていきたい





古閑原
高村竜一

この「不安」どうなる!?

上野地区に産業廃棄物処理場建設の話が進行中であることが、御船町住民の方々にどのくらい浸透しているでしょうか。元々は一般廃棄物処理場(御船・益城・嘉島・甲佐・山都町の5町)であったはずの計画が、新聞報道により民間の産廃施設へ計画変更された旨を突然知らされました。何度か住民向けの事業説明会も開かれましたが、数々の不安は払拭できません。まず当初は100台程度の搬入台数との計画が現在は片道300台以上に増加しています。住民の生活道路としてのマミコウロードは機能しなくなってしまう不安があります。次に使用水量ですが、250トン/日との計画ですが、本

当に御船町全体の給水に影響はないのでしょうか。昨年末初めて節水協力の呼びかけがありました。説明会でこのような状況下でも施設が稼働している場合どうされるのか質問されたところ、稼働は止めないとの事業者側から返答されました。本当に大丈夫でしょうか。何よりも心配なことは、交通事情の悪化、万一の給水状況の悪化、施設稼働後の環境への風評被害の可能性。生活環境の悪化により、一層の地域の人口減につながらないかです。地域の起爆剤として期待する声も多いのですが本当に不安です。より良い未来を選択できるように切に願います。

2月の議会

- 2日 全協
- 6日 視察受入(佐賀県嬉野市)
- 8日 議会(予定)
- 14日 議会アドバイザー研修

表紙の こぼれ話

晴天に恵まれた出初式。放水体験では町の学童野球チームが参加し、賑わいをみせた。



地域おこし協力隊との意見交換会 vol.4



左から坂本さんと赤塚さん

令和6年1月15日に愛郷吉無田所属の赤塚友浩さんと坂本新太郎さん(共に令和5年2月1日活動開始)の二人と意見交換を行った。

二人とも熊本県の出身で、赤塚さんは実家が自転車屋を営んでいることもあり、20年以上前からマウンテンバイク(以下

MTB)の愛好家とのこと。自転車を利用して世界各国をバックパッカーしたこともあるそうで、協力隊でもMTB大会等の協力をしている。坂本さんは、10年間東京でIT関係の仕事・食品関係の仕事をしていましたが、現在は協力隊としてテントサウナ等のイベント企画や農業支援等をしている。また、副業として「1993coffeestand」を営まれ、コーヒーを飲みながら御船町の良い所を語り合っていたと言われた。

二人は、御船町を盛り上げたい、吉無田という地域をもっと知って欲しいとの思いから様々なイベントを通して、情報発信や認知度アップに努められている。3年間の任期を活かして様々な方と交流し、新たな発見と明確な方向性をみつけないと言われた。

これからも地域おこし協力隊同士の連携を深め、議会への提案を積極的に行い、地域への資源活用を発揮してもらいたいと思った。

広報編集特別委員会 委員長 増田安至